

あなたのとなりに、尼社協ボランティア情報だより

第327号/2025年11月発行

ゆうりん



公式SNS、
ぜひご覧
ください♪



@AMASYAKYO.9043



わたしと、ボランティア。⑤

ボラセンには本当に多彩なボランティアのみなさんが登録されていますが、実はその中に尼崎のご当地ヒーロー?!がいること、ご存じですか?その名は「赤龍神リュウ牙」。今回は、リュウ牙として活動する宮川英之さんに、お話を聴きました。

宮川さんの甥っ子さんが病気を患い、病院生活がとても大変そうだった、その様子を見ていたことから「赤龍神リュウ牙」は誕生します。長く辛いこともある病院での生活、そのような環境にいても子どもたちに喜んでもらうには何をすればいいだろう、そこで思いついたのが「身近に触れあえるヒーロー活動」でした。かくいう宮川さん自身も特撮やヒーローものが大好き、でも、ヒーローに会いに行こうと思うと、テーマパークまでの距離やお金等の負担が大きく、身近に触れあう機会はなかなかありませんでした。そこで、自分自身で何かできないか、でも自分が素顔を出して活動しても、子どもたちには喜んでもらえないだろうと、今の「リュウ牙」スタイルを構想します。無料で出会える、ヒーローという、私たちを勇気づけてくれる存在との距離感を縮めたい、宮川さんも約20年前に、大きなケガで1か月以上、ベッドから動けない期間があったこともあり、構想はどんどん具体的になっていきます。

そして2020年10月24日、「赤龍神リュウ牙」がついに誕生!ご自身が好きだった「特撮牙狼」からリュウをモチーフに、そして赤が好きなことも組み合わせてフォームが完成。製作中、「武庫川沿いに祀られている『龍長大神(りゅうちょうだいじん)』」の話があることを知り、そこから名を取り、「赤龍神リュウ牙」としての活動がついに始まりました。



最初こそ、「ヒーロー活動でのボランティア」の前例が身近におらず、手探りの活動が続いたようですが、お知り合いから「社協(ボラセン)」を教えてもらったようで、尼崎のボラセンともご縁をいただくことが出来ました。当初は数人だった市内外でのイベントも、5年めを迎えた今年、会場には80人以上の子どもたちが列を作るほど大人気!尼社協ボラセンでも昨年度、「オレンジリボンフェスタ」に登場いただきました。大きなイベントだけではなく、本当に喜んでくれる子どもたちに会いに行きたいと、特に市内の一人一人の子どもたちと、小規模でも出会いに行くことも、大切にされています。

ヒーロー活動はボランティアとはいえ、フォームのメンテナンス等、費用がかかりそうですが、「お金を取ってしまうと、自分が思い描くヒーローにはならない」と、ボランティアにも、ヒーローにも、思いをもって活動する宮川さん。直近では11月末と12月初めに、コープ武庫之荘あたりでイベントにも登場予定!みなさんも、ぜひ会いに行ってみてくださいね。

そういえば、先日は「ワニ」?!が、ボランティア登録いただきました。この話も追ってどこかで。

Q「リュウ牙のどういう所が好きですか?」

→動画を送ってくれたり、心を応援してくれる優しいところが好きです。胸と腕のデザインがかっこいい。

Q「リュウ牙への応援メッセージをお願いします」

→いっぱい会いに行きます。応援しています。頑張ってください。これからもみんなに元気をください。大好きです。



リュウ牙の大ファン!
市内在住の中学生
Nさんにきました!



★「赤龍神リュウ牙」に来てほしい!というご相談は、ボラセンまでお気軽に!

【コーディネーター報告】「ふだんのくらしをしあわせ」にする“福祉（活動）“について、実際に生活・活動している人からお話を聞き、「他人ごと」から「我がごと」にとらえるきっかけの場としての「福祉学習」。今回は小学校5年生を対象にした「車いす体験とお話」についてのレポート。



（どんな内容？）

▶「尼崎市肢体障害者福祉協会」の方が講師として、足が不自由な中での普段の暮らしのこと、車いすは自分たちの「足」であること、様々な種類の車いす紹介などのお話に加え、車いすダンスもご披露くださいました。

▶また、実際にこどもたちが車いすに触れ、乗る側と介助側の体験も行いました。

（こどもたちの感想）＊抜粋

「車いすに乗っていたらくだと思っていたけど、やってみると体みたいと思うように動けないのがしんどいと思いました」「車いす体験をして車いすに少し興味を持ちました！車いすでダンスをするなんてすごいと思いました！」「車いすはこんな大変な動きをするとは思ってなかったです。今回の体験を大切に車いすの人に声をかけてあげようと思いました」

（尼崎市肢体障害者福祉協会 高尾さんより）

今回の学習を終えて、「車いすでどうやって寝ているんですか？」という質問があったことが印象的でした。講話の中で「車いすは私たちの足と同じ」と話をしていたことから、このような疑問が浮かんできたのだと思います。こどもたちの素直さに我々大人は驚かされるばかりでした。なにより、みなさんが車いすに興味を示してくれたことに大変嬉しく思いました。

感想文からは、こどもたち一人ひとりに、新しい気づきや発見があったことがよく伝わってきました。伝える側である大人も、こどもたちの純粋さに触れる機会となり、双方にとって大変有意義な時間となりました。小さな一歩ですが、未来につながる取り組みでした！

コーディネーター
ひとりごと。

ぼちボンの会

11月14日(金)

10時から11時30分

尼社協はっと館1階ロビーにて

- 当日参加できます（申込みなし）
- いつ来ても、いつ帰っても大丈夫です
- 持ちものは、ありません。
- エコ封筒づくりや雑巾縫いなどをします
- ＊ボランティアのご相談も、お気軽に！
- ★12月は15日（月）の予定です。



数年ぶりの「ボランティア説明会」、年代も活動経験の有無もそれぞれでしたが、共通して、ボランティアにはポジティブな印象を抱いておられました。「ボランティアに参加するってそんなにハードルが高くないんだとわかりました。まずは、すぐできるプルタブ回収から自宅で取り組んでみます」という感想があり、参加への敷居を低くしたい！と思っていたのでとてもうれしいお言葉でした。それに、「なにかしたい」と胸に秘めておられる方はまだまだたくさんいるんだろうな…そんな方々に会っていききたいな～と夢が膨らみました！

いつも収集活動、
ありがとうございます！
－順不同・敬称略－

【切手】

総合老人福祉センター/和楽園

【切手・プルタブ】劉成朝/NPO
法人神戸救急グループ/大源製薬(株)/
ひょうごラジオカレッジ尼崎友の会

【プルタブ】子ども食堂晴れるや/次屋東福祉協会/尼崎はばたく会/戸ノ内コミュニティ会館/黒田克典/笑いヨガメンバー/江隅美穂/稲葉荘社会福祉連絡協議会★/塚口第三住宅福祉協会・富松/生島西貝原町会/生島西共栄町会/生島西老人会シニアクラブ/生島西会館運営委員会/生島西高齢者福祉を考える会/山岡商店/大山印刷/カラオケレイラ/阪神尼崎ラジオ体操会/赤龍神リュウ牙/中西隆司/やどかり会/白寿プラザ三和店/沢本仁一朗/(株)三原金属工業/長谷川達雄/堀本/梅原恵子/智原登志/藤山和美/ま・どんな/前田太津子/武庫民協第3ブロック/東第6琴浦クラブ

【発行】尼崎市社会福祉協議会ボランティアセンター 〒661-0033 尼崎市南武庫之荘3-24-5 尼社協はっと館3階

電話 06-4950-8863（平日9時～17時）／ファクシミリ 06-4950-8913／メール amavc@dream.ocn.ne.jp

■「ゆうりん」をメール配信で受け取りたい方は、メールにてご連絡ください。